

令和4年3月14日

保護者の皆様

上田女子短期大学附属幼稚園

## 令和3年度自己評価結果公表シート

### 1、本園の教育目標

「生き生きしている子ども」 「健康な子ども」 「心の豊かな子ども」

### 2、本年度、重点的に取り組む目標

- ア. やまほいくの推進
- イ. 食育の推進
- ウ. 安全管理の充実

### 3、評価項目の達成及び取組状況

評価結果基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

評価項目	結果	取組状況
ア. やまほいくの推進	A	幼稚園教育要領にある、「幼児期の育てほしい10の姿」について、裏山で育つ姿との共通点を見出し、子どもたちの主体的な学びを保障する保育の実現を目指した。園内研修、外部研修、実践報告発表を行い、園での保育に活かしていくことができた。今後は短大教員と連携をしてやまほいくの教育的観点を見出す努力をしていきたい。

イ. 食育の推進	A	子どもたちの食への関心が希薄化している中、作物を栽培・収穫・調理して食べるといった一連の活動について、積極的に取り組むことができた。短大のかまどを使用して焚火で調理をする体験など、「やまほいく」と関連した食育活動に取り組むことができた。今後も継続していきたい。
ウ. 安全管理の充実	B	防災についての意識を高め、年4回の防災訓練に加え緊急時引き渡し訓練を行い、緊急時の職員体制について確認した。新型コロナウイルス感染症対策については、その時の状況によって判断すべきことが多く、マニュアル通りにいかないことがあった。状況判断の材料となる、より多くの情報収集が必要と思われる。

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について全職員が共通理解し、主体的に取り組むことができた。また、それぞれが自己評価をし、新たな課題について見出し、今後の取り組みや本園の教育方針を明らかにすることができた。

#### 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
ア.やまほいくと食育の推進	裏山の自然・畑・かまどといった特色ある環境を活かした取り組みを積極的に行い、子どもたちの主体的な自然体験活動を豊かなものにする。裏山と共にある園生活を大切にし、子どもたちにとって一番身近で親しみやすい場所となるような環境設定をする。
イ.運動遊びの充実	コロナ禍で子どもの運動機能の低下が懸念される中、幼稚園の遊びで運動発達を促していくよう意識的に環境設定をする。
ウ.短大との連携	やまほいくや園での取り組み・教育について、短大教員の専門性と連携し、教育的観点から保育を振り返ることや、助言をもらうことで教育の向上につなげていく。

#### 6. 学校関係者の評価

学校関係者評価委員会を書面での聴き取りという形で行った。委員からは概ね良好な運営をされているという意見をいただくことができた。